

NEXT50に向けて、新たなWaku-Wakuを!

【特集】ID 50年の歴史と未来
マナちゃんのご案内します!



Message

いつの時代も **Waku-Waku** を創造する **ID** であるために



Q 2020年3月期第2四半期の業績、および通期の見通しは？

第2四半期は、サイバーセキュリティやコンサルティングなどが堅調に推移した結果、売上高は131億71百万円（前年同期比0.0%減）と、ほぼ期初計画通りの水準となりました。利益面では、積極的な営業活動の推進やプロジェクト管理体制の強化といった施策が奏功したことに加え、高採算な大型案件により、営業利益は11億59百万円（同57.7%増）と、当初予想を大幅に上回りました。

通期業績については、現時点では期初計画通り、売上高268億円（前期比1.1%増）、営業利益16億70百万円（同0.2%増）と予想しています。



Q 10月20日に創立50周年を迎えられたそうですが？

ここまで来られたのも、ひとえに株主の皆さまを始め、関係各位の長年にわたるご支援の賜物と、心より厚く御礼を申し上げます。

IDには「IDentity（アイデンティティ）」という経営理念があります。そのなかに、「私たちはWaku-Wakuする未来創りに参加します」という言葉を掲げています。Next50に向けた新中計は、まさに未来のWaku-Wakuを創造するための布石です。これからのさらなる飛躍に向け、今一度企業理念を社員一同心に刻みなおし、次の50年を確実に歩んでまいります。

NEWS DIGEST

2019年8月 → 11月

DX時代に求められるインフラとは？ 慶應義塾大学とシンポジウムを共催

10月23日、「KEIO×ID デジタルテクノロジーシンポジウム～DX時代におけるインフラの進化とデータのあり方」を、同大学・三田キャンパスで開催しました。企業、官公庁、公共機関などを対象に、デジタルトランスフォーメーション（DX）の実現におけるセキュリティ上のさまざまな課題と懸念、対策について、最先端の研究者と当社エンジニアリングスタッフが講演を行いました。



- 8月**
- 13日 テレワーク・デイズ2019に参加
 - 15日 【フェス】新コース「ITIL®4ファンデーション研修」を開催
 - 20日 東京・日本証券アナリスト協会主催 個人投資家向けIRセミナーを開催
 - 28日 【フェス】HDIネットワークフォーラムにて「ITIL4～HDI国際認定スタンダードとの関係をふまえて」というテーマで講演

IDアメリカが11月より日本支社の営業を開始

当社グループ会社のIDアメリカ（米国マサチューセッツ州）は、11月1日より日本支社の営業を開始しました。IDアメリカは、グループのグローバル戦略上の「技術者の育成」や「IDグループの業務ノウハウの共有化」を推進しており、米国で採用した優秀な技術者を日本で活躍させ、さらなるグローバル戦略の深化を図ります。

ミャンマーの未来を担うリーダーの育成を支援しています

IDミャンマーではCSR活動として、ミャンマーの孤児や貧しい子どもたちの通うチャリティスクールを支援しています。教師たちの給与を援助するほか、ゲーム感覚で学べる学習教材の提供なども行っています。未来のリーダーとなる子どもたちの交流は、IDミャンマーのスタッフの刺激と発見につながっています。

- 9月**
- 5日 【プライド】日本プロジェクトマネジメント協会のシンポジウムにて、俊敏性（Agility）への貢献について発表
 - 20日 大阪・日本証券アナリスト協会主催 個人投資家向けIRセミナーを開催
 - 23日 【ID武漢】事業拡大にともなって本社を移転
- 10月**
- 10日 【ID】NTT Comのクラウドサービスの販売に向けて代理店契約を締結
 - 20日 **創立50周年**
 - 23日 【ID】「KEIO×ID デジタルテクノロジーシンポジウム～DX時代におけるインフラの進化とデータのあり方」を開催
- 11月**
- 1日 【IDアメリカ】日本支社が営業を開始
 - 1日 第2四半期（累計）連結業績予想を修正
 - 8日 剰余金の配当（中間配当）の実施を発表
 - 29日 【フェス】「第16回ITSMF Japanコンファレンス/EXPO」にプラチナスポンサとして出展

NEWS Corporate Information

会社情報 (2019年9月30日現在)

商号	株式会社 IDホールディングス ID Holdings Corporation (IDHD)
本社所在地	〒102-0076 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館 TEL: 03-3262-5177 (代表) FAX: 03-3264-7145
創立	1969年10月20日
資本金	5億9,234万円
連結従業員数	2,283名

役員 (2019年9月30日現在)

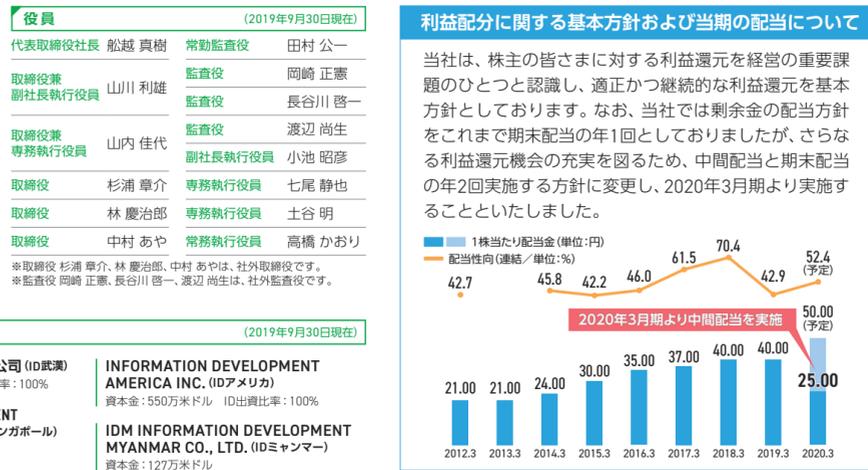
代表取締役社長	船越 真樹	常勤監査役	田村 公一
取締役兼副社長執行役員	山川 利雄	監査役	岡崎 正憲
取締役兼執行役員	山内 佳代	監査役	長谷川 啓一
取締役	杉浦 章介	監査役	渡辺 尚生
取締役	林 慶治郎	副社長執行役員	小池 昭彦
取締役	中村 あや	専務執行役員	七尾 静也
		専務執行役員	土谷 明
		常務執行役員	高橋 かおり

※取締役 杉浦 章介、林 慶治郎、中村 あやは、社外取締役です。
※監査役 岡崎 正憲、長谷川 啓一、渡辺 尚生は、社外監査役です。

国内・海外ネットワーク (2019年9月30日現在)

株式会社 インフォメーション・ディベロップメント (ID) 資本金: 4億円 IDHD出資比率: 100%	艾迪系統開発 (武漢) 有限公司 (ID武漢) 資本金: 110万米ドル ID出資比率: 100%	INFORMATION DEVELOPMENT AMERICA INC. (IDアメリカ) 資本金: 550万米ドル ID出資比率: 100%
株式会社プライド 資本金: 4,000万円 IDHD出資比率: 92.7%	INFORMATION DEVELOPMENT SINGAPORE PTE. LTD. (IDシンガポール) 資本金: 573万シンガポールドル ID出資比率: 100%	IDM INFORMATION DEVELOPMENT MYANMAR CO., LTD. (IDミャンマー) 資本金: 127万米ドル ID出資比率: 83.9% IDシンガポール出資比率: 16.1%
株式会社フェス 資本金: 6,000万円 IDHD出資比率: 100%	夔ファクトリー株式会社 資本金: 5,000万円 IDHD出資比率: 98% フェス出資比率: 2%	

株式会社 **IDホールディングス**
〒102-0076 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館
IRお問い合わせ先: コーポレート戦略部 TEL. 03-3262-5177
<https://www.idnet-hd.co.jp> ※左記QRコードからアクセスができます。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告の方法	当社ウェブサイト上の電子公告により行います。 https://www.idnet-hd.co.jp ただし、やむを得ない事由により電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵送物送付および お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目9番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
証券コード	4709 (東京証券取引所 市場第一部)

History

1969-2019 テクノロジーの発展と ともに歩んだ50年

この50年間は、想像を超えるテクノロジーの進歩の連続でした。私たちIDはその最先端のテクノロジーを、暮らしや仕事の「当たり前」にするため、お客さまとともに、世の中の **Waku-Waku** を支えてきました。

1969.10
(株) インフォメーション・ディベロップメント設立
資本金3百万円
社員7名でスタート

1969~
コンピュータの時代
データ入力企業として創業

1970.2
売上高の推移
0.2億円

1970.5
東京都千代田区麹町に本社を移転

ID が選ばれ続けている理由

- 50年の経験、取引先は1,000社以上
- 国内最大級の運営管理プロ集団
- IoT、AIなど最新技術に対応
- グローバルに事業をサポート
- コンプライアンス(法令順守)の徹底

1980.2
売上高
14億円

1982.9
日本ユニシス(株)との合併会社(株)ソフトウェア・ディベロップメントを設立

1983~
ネットワークの時代
システム・インテグレータを目指して

1990.3
売上高
41億円

1993.11
日本証券業協会に株式を店頭登録

1995~
パソコンの時代
インターネットの普及とともに飛躍

ID PLAYBACK

社長に聞く当時の思い出

「Change or Die!」の精神で新しい価値の創造に挑戦

2006年に社長を拝命してから3年後、「Change or Die!」のスローガンを掲げました。この頃から、IT技術の急速な進展、顧客企業の海外進出などにより、当社を取り巻く環境は大きく変化していました。そうしたなかで私たちは新しいビジネスモデルの創造、海外への展開に挑戦してきました。苦難のなかに成功の兆しをつかみ、新しい価値の創造に挑んだ結果、前中期経営計画「I-vision50」は過去最高の売上高と利益で締めくくることができました。

2000.3
売上高
84億円

2002.4
(株) プライドを子会社化

2002~
ボーダーレスの時代
海外への事業展開を推進

2004.4
中国・武漢市にID武漢を設立

2004.12
ジャスダック証券取引所(現東京証券取引所)に株式を上場

ID PLAYBACK

マナちゃん誕生!

名前 マナちゃん
性別 男の子
出身 フロリダ
誕生日 2007年4月1日
職業 IDグループ、旅行課所属の社員

2010.3
売上高
172億円

2010~
デジタルイノベーションの時代
新しい価値の創造への挑戦

2012.5
IDシンガポール設立

2012.8
IDアメリカ設立

2012.11
ロンドン支店を設立

2013.12
東京証券取引所市場第二部に上場

2015.5
IDミャンマー設立

2015.7
日本カルチャソフトサービスとソフトウェア・ディベロップメントを吸収合併

2014.1
鳥取県鳥取市に愛ファクトリー(株)を設立

2014.9
東京証券取引所市場第一部銘柄に指定変更

2015.8
東京都千代田区五番町に本社を移転

2016.4
(株) テラコーポレーションを子会社化

2016.5
愛ファクトリーが特例子会社に認定

2018.1
(株) フェスを子会社化

2019.4.1
持株会社制へ移行(株) IDホールディングス設立

2020.3
売上高
268億円(予想)

2020.3
売上高
84億円

ID Holdings

中期経営計画

NEXT50 Episode I 覚醒 (Awakening)! (2019.4-2022.3)

新たな50年の飛躍に向けた基盤づくりと位置づけ、戦略的な企業価値の向上を目指します。

3つの基本方針

- 1 未来指向型企業文化の醸成**
持続的な成長には、人材の多様性とイノベーションの創出が欠かせません。多様な人材の採用・育成に取り組み、人材が能力を最大限発揮できるよう、引き続き組織・制度・環境を整備していきます。また、未来に向けて挑戦する風土の醸成とイノベーションの創出を進めていきます。
- 2 デジタルトランスフォーメーション(DX)によるUP-GradeされたBusiness Modelの展開**
既存のサービスソリューションにアドバンスド・テクノロジーを組み合わせることで、顧客ニーズにあった、UP-Gradeされたサービスを提供します。こうしたサービスモデルの実現に向けて、この3年間は技術者育成に重点をおき、積極的に教育投資を行います。また、成果報酬型ビジネスへ転換を図ります。既存事業の拡大にこわえ、新規領域への積極的な投資を行い、競争優位性を高め、収益性向上を図ります。
- 3 ESGの推進**
情報サービスの提供を通じて社会課題の解決に取り組むとともに、持続的な成長および社会価値の創造を目指します。ESGの各分野での取り組みを強化することで、顧客、株主、従業員などすべてのステークホルダーとともに成長・発展していけるよう努めます。

業績目標<2022年3月期>

売上高 **300億円**

営業利益 **18.5億円**

営業利益率 **6.2%**

Waku-Waku
する未来に向けて